

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成28年10月14日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について

(剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理システムの開発に関する研究)

国立研究開発法人土木研究所では、平成28年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理システムの開発に関する研究 (詳細は別添-1)	平成28年12月(予定) ～平成29年3月
担当：材料資源研究グループ	
共同研究の目的(必要性) 下水道整備の進展にともない、処理場数は約2,200箇所など下水道ストックは増大してきた。循環型社会形成推進基本計画(平成25年5月、閣議決定)では、「循環資源・バイオマス資源のエネルギー源への利用」のために、下水処理場を地域のバイオマス活用の拠点としてエネルギー回収等を行う取り組みを推進する方向性が示された。また、国土交通省河川砂防技術基準維持管理編(河川編)では、伐木や刈草について、リサイクル及びコスト縮減の観点から有効利用に努めることとされるなど、河川事業等で発生するバイオマスも有効利用が求められている。 これらの背景から、従来、有効利用されていなかった河川・道路・公園管理等で生じる剪定枝等を化石燃料の代替として、下水汚泥焼却時の補助燃料として使用する。本共同研究は、このための保管、破碎、乾燥から構成される前処理システムの開発を目的に実施するものである。 なお、本研究成果によっては、外部資金等を活用し、更なる展開を目指すものである。	
共同研究の内容 剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理システムの基本設計作成	

2. 募集期間 **平成28年10月14日(金)から平成28年11月14日(月)17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 崎谷 和貴 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 材料資源研究グループ 上席研究員 植松 龍二 研究員 桜井 健介 電話 029-879-6765

別添-1

1. 共同研究の名称

剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理システムの開発に関する研究

2. 共同研究の概要

＜共同研究の目的＞

下水道整備の進展にともない、処理場数は約 2,200 箇所など下水道ストックは増大してきた。循環型社会形成推進基本計画（平成 25 年 5 月、閣議決定）では、「循環資源・バイオマス資源のエネルギー源への利用」のために、下水処理場を地域のバイオマス活用の拠点としてエネルギー回収等を行う取り組みを推進する方向性が示された。また、国土交通省河川砂防技術基準維持管理編（河川編）では、伐木や刈草について、リサイクル及びコスト縮減の観点から有効利用に努めることとされるなど、河川事業等で発生するバイオマスも有効利用が求められている。

これらの背景から、従来、有効利用されていなかった河川・道路・公園管理等で生じる剪定枝等を化石燃料の代替として、下水汚泥焼却時の補助燃料として使用する。本共同研究は、このための保管、破碎、乾燥から構成される前処理システムの基本設計の作成を目的に実施するものである。また、乾燥工程は、焼却炉排熱等を活用した省エネルギー型の方法を想定している。

なお、本研究成果によっては、外部資金等を活用し、更なる展開を目指すものである。

＜共同研究の内容（項目）＞

剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理システムの基本設計作成

- ① 開発の方向性検討
- ② 基本設計作成
- ③ 開発課題の抽出

3. 実施期間 平成 28 年 1 2 月（予定） ～ 平成 29 年 3 月

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担※1		年次計画	
		土研	共同研究者	28年度	29年度
剪定枝等を下水汚泥焼却時の補助燃料として活用するための前処理システムの基本設計作成	①開発の方向性検討	◎	○	↔	
	②基本設計作成	◎	◎	↔	
	③開発課題の抽出	○	◎	↔	
	④とりまとめ	◎	○	↔	

※ 1 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印、従として分担する場合は○印とする。

＜裏面もご覧下さい＞

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

- ① 「バイオマスの乾燥システム」および「下水汚泥を対象とした焼却炉の排熱の有効活用システム」を開発した実績を有すること
- ② ①の条件を満たし、本共同研究に必要な専門技術者の配置及び必要な費用を分担できること

< 参加者数 >

1～2者程度を想定

< 参加者の選定方法 >

書類審査・個別ヒアリングを行った上で選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者

材料資源研究グループ

植松・桜井（TEL：029-879-6765）